

6. オープンキャンパス（教員を目指すひとのための相談コーナー）

大学で例年実施している「オープンキャンパス」において、今年度は全学教職センターのブースを設け、「教員をめざすひとのための相談コーナー」を開設した。実施状況は以下の通りであった。

- (1) 日時：平成29年7月22日（土） 10：00～14：00
- (2) 設置場所：図書館共同学習エリア
- (3) 相談員：全学教職センター 小川哲哉，昌子佳広，柴原宏一，五島浩一
学務課職員 菊池昌彦，鯨井拓巳
- (4) 配布資料：取得可能な免許の種類，教員採用試験合格状況，Q & A
- (5) 来場者数（資料配付数）：50名
- (6) 相談者数（保護者含む）
 - ・高校1年生：14名
 - ・高校2年生：15名
 - ・高校3年生，既卒者：14名
- (7) 相談時間（1組あたり）：10分～20分程度
- (8) 相談状況等

10時開始でアナウンスしていたが，9時45分頃から既に来場者があったため，早めに開始した。午後はやや来場者が少なく来場ペースも落ちた。

主な相談内容としては以下の通りであった。

- ・複数の学部で取得可能な免許について，どちらの学部がよいのか。
- ・教育学部以外の学部から教員になれるか。
- ・複数の免許の取得は可能か。
- ・採用試験の実施状況や結果（合格状況）はどのようなになっているか。
- ・採用試験のサポート体制はどのようなになっているか。

今年度初めての試みであったが，盛況であり，一定の成果はあったと思われる。一件あたりの相談は上記を標準的な時間と設定していたが，それを超えて長くなることもあり，特に午前中においては1，2組の相談者が順番待ちのため待機している時間帯もあった。

相談を受けての感触となるが，将来の職業に教員を有力な選択肢の一つとして想定し，夢や希望を抱いている高校生は多く，ただそのための学修内容や免許取得に至るプロセスなどは当然ながらまだよく把握していないため，こうした相談コーナーを設けて丁寧に説明することはやはり有効であると思われる。

課題としては，教職を希望して大学入学を目指す学生は基本的には教育学部を志望しており，教育学部との「すみ分け」あるいは「コラボレーション」をどう考えるかという問題が挙げられる。多くの相談者は教育学部での説明も受けていたが，そのうえで当センターのブースではどのような情報を提示すべきか，それはもちろん相談者の質問・要望に応じることになるが，教育学部との事前のすり合わせ，調整を含めて，今後検討していく必要があるものと思われる。